



A photograph of a large, historic brick building at night, illuminated from within, with a large, brightly lit tree in the foreground. The building has a dark roof with several dormer windows and a series of arched windows on the ground floor. The tree is a large, leafy deciduous tree, possibly a cherry tree, with its branches and leaves glowing with a bright, warm light. The scene is set against a dark night sky.

同協議会の秋篠京子事務局長は、「コロナ禍でイベント実施を断念した3度目の春。いつも通り開催できなくても、地域の皆様に楽しんで頂けるような“何か”を模索した結果、せめて昼夜問わず赤レンガの桜を楽しんでもらおう！という想いで実施した。」と述べていました。

町内会・自治会
基礎講座



[参加料：無料]



7月15日（金）には、地域の町内会や地域団体が参加して踊りを披露する「上田公民館夏まつりさんさ踊り」が賑やかに開催されます。この機会に上田公民館を訪れてみてください。

講座情報

[illegible]

つながる **わ**
Vol. 84



(令和 4 年 6 月 発行)



中津川における、今年のあゆ釣りの解禁日は7月3日（日）。同日、あゆ釣り教室の開催が予定されています。あゆ釣り教室の詳細については、市HP「観光情報」よりご確認ください。



コミュニティリーダー研修会

主催：盛岡市/共催：盛岡市町内会連合会、玉山地域自治会連絡協議会、“世界につながるまち盛岡”市民会議

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会場に参集して受講する形式ではなく、事前に収録した動画をオンライン（市公式YouTube）上で配信し、配信期間内（2月15日（火）～2月28日（月））に申込者が各自で視聴する形式にして研修会を開催しました。

市HPにて研修資料の一部を公開していますので、興味のある方はご覧ください。なお、HPの内容は予告なく変更されることがあります。



広報ID
1039270

地域の課題解決力を上げる

講師：特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター 広田 純一 代表理事

なぜ、コミュニティが必要か？

■ いざという時のために

災害時、一番に助け合えるのは、物理的に近くにいる人同士。有事の時のためにも、近所の方とは顔見知りになっておく必要があります。

■ 普段の心地よい暮らしのため

我々は、知っている人には協調的ですが、知らない人には警戒しがち。顔見知りにさなっておけば、自然と支え合い、助け合える「心地良い関係性」を築くことができます。

■ 地域の課題解決のため

最低限の共同作業のほか、お祭りや防災活動といった、より積極的な地域づくり活動を進める必要があります。

コミュニティ活性化のコツ

「小さく始めて、少しずつ広げていく」こと。

「良い地域」とは？

一言で表すと「**腹がくくれている地域**」。ないものねだりをせず、今あるものを生かすのが肝要です。人間、いつも嘆いている人とは長く付き合いたくないはず。地域も同じで、どんなに厳しい条件におかれても、前向きに「できることからやろう」という姿勢を持っている地域は良い地域であると言えます。

ご縁を大切に

今住んでいる地域は、何かの縁があって暮らすことになった地域。ぜひ、地域を大切にする気持ちを忘れずに、地域づくりに励んでいただきたいと思います。

城南地区地域づくり委員会

発表者：金澤 卓司 事務局長

当会は、町内会・自治会・各団体等の相互理解を土台とし、「住みよいまち古都『城南』」をテーマに活動しています。

平成25年に「地域づくり計画」を策定。この計画に基づき、城東中学校と協働で地域活動（清掃活動や除雪活動）を行ったり、地元の人や観光客に地域を知ってもらうための由緒板（いわればん）を設置したり、地区マップを活用した散策会を行ったりしています。

地域資源を集約しながら、更なる情報発信を行うことで、興味・関心を持ってくれる人を増やし、また地区に主体的に関わる人が増えることを目指し、これからも活動を進めていきたいです。

盛岡市 男女共同参画推進室

発表者：佐藤 滯 主事

市は、「性別等にかかわらず、誰もがお互いの人権を尊重し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会」の実現を目指しています。

先進的な取組を行う地域では、若者・子育て世代に地域活動に参加してもらうため、次のような工夫が見られます。

- ① 「大変そう」「負担感がある」のハードルを下げる。
 - ② 参加しやすい雰囲気づくり。
 - ③ 時間や条件を変える。
 - ④ 様々な人にも届く情報発信・共有。
- 変化が激しい時代に、組織や社会が持続可能な運営をしていくためには、多様な人の活躍が不可欠といえます。



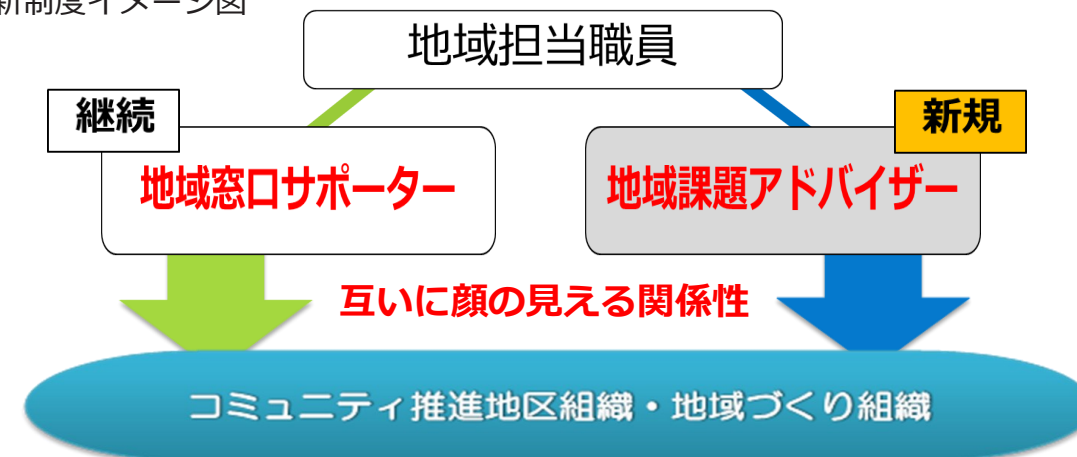
地域担当職員制度 が新しくなりました

市は地域の皆様と意見を交換する中で寄せられた意見を取り入れて、令和3年3月に「盛岡市地域づくり協働推進計画」を策定しました。同計画に基づき、令和4年度から、コミュニティ推進地区組織等を対象に、従来の地域担当職員を「地域窓口サポーター」として継続するとともに、新たに地域課題を地域と一緒に考える地域担当職員を「地域課題アドバイザー」として要望に応じて配置する新しい制度を実施します。

ポイント

1	従来の職務を「地域窓口サポーター」として継続
2	地域課題の解決を地域と一緒に考える「地域課題アドバイザー」を創設
3	新しい制度により、地域と市職員との「互いの顔の見える関係性」を築く

※ 新制度イメージ図



「せきれい号」の運行を再開します

「岩手県緊急事態宣言」解除に伴い、5月31日（火）より地域活動バス「せきれい」の予約を再開しました。

バスの空き状況や、予約方法、利用条件などは、市民協働推進課 協働推進係（626-7535）へお問い合わせください。

なお、これらの情報は、市HPでも確認いただけます。



広報ID
1001903

地域活動バス「せきれい」は、市が共催する町内会などの研修活動にご利用いただけます。利用料は無料です。

■ 共催の対象となる活動

1. 市政見学、事業所見学などの活動
2. 文化、芸術、教養などの学習活動
3. 体育、スポーツなどの健康活動
4. ボランティア活動など

■ 乗車人数

9人以上、17人以内

■ 申請方法

毎月1日（土日・祝日の場合は翌日）に、翌月分の受付と抽選を、午前9時から市民協働推進課窓口にて行います。

抽選以降に空きがあるときは、利用希望日2週間前まで、随時受付ます。



講演

事例発表